

サポセン mail

No.170. 2017.5.28 発行

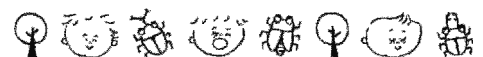
＜発行元＞ 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区菅田町 2-25-78 7F-1 菅田 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konijiki.jp/

残業時間上限規制<100時間>は誰のため？

もう2カ月以上前になりますが、1カ月の残業時間上限を「繁忙期は100時間」と固執する経団連と「100時間未満」を主張する連合のどちらが譲歩すべきかが新聞誌上を賑わせていたことがありました。現状では多くの企業が1カ月の残業時間上限が100時間で協定を結んでいます。（NTT東日本に至っては150時間です。）

現在これだけの時間、労働者を『合法的に』働かせることができる経団連が、「働き方改革」での長時間労働規制において「繁忙期は100時間」を割らせないように固執していたのです。経営者側は100時間くらい残業させられなければ困るという考えなのでしょう。

でも、それは過労死基準なのです。過労死基準は脳・心臓疾患などで1カ月100時間、2～6か月で平均80時間とされています。つまり、場合によっては労働者が死んでしまう時間ということなのです。そういう痛ましい事件が起きないよう、現状を変えるのが「働き方改革」だったのではないのでしょうか。



ぼくのゆめ

大きくなったら
ぼくは博士になりたい
そしてドラえもんに出てくるような
タイムマシンをつくる
ぼくはタイムマシーンにのって
お父さんの死んでしまう
前の日に行く
そして『仕事に行ったらあかん』て
いうんや

弁護士でブラック企業被害対策弁護団代表である佐々木亮氏のご自身の記事でこのような内容を訴えていました。

そして、父親を過労自殺でなくしたマークくん（当時小学校1年生）が書いた詩を紹介しています。

私たちの親・子ども・兄弟が働き過ぎで命を落としたら、と思うと胸がしめつけられるような気持ちになります。

そして、このような現状は大人だけの現状と言っているのでしょうか？

夜10時頃になっても学習塾の窓から

は明かりが漏れ、勉強を終えた子どもたちがそろそろと出てきます。勉強だけでなく、水泳・ピアノ・英会話・お習字など。休日はサッカー・野球・部活になるとこれに朝練もあり・・・どうして日本の子どもはこんなに頑張るのでしょうか？子どもの「頑張る時間上限規制」は何時間なのでしょう？

（記 安藤）

春を探しに緑の森へ！

4月29日（日）この日は細川隆先生と一緒に小山町の森を歩き、春の草花や生き物について教えていただく予定でした。ところが、突然先生が来られないことになってしまいました。さあ大変！小山町の森のことはよくわからず、今回はみんなで昭和の森で遊ぶことになりました。待ち合わせ場所の水辺の里公園から昭和の森に車で移動しました。

今期のあそび塾は新しい友達がふえました。土気南小学校3年生の本田みさきちゃん、下永田れいちゃん、伊藤翼くんの弟のだいちくんは誉田東小学校の1年生です。そして以前あそび塾にきていた木村ゆうきくんの弟こうすけくんはおゆみ野南小学校の2年生です。半年お休みしていた大木戸小学校の山本みゆちゃん、みれいちゃん姉妹もまた参加することになりました。今期のあそび塾は14名でスタートです。

田んぼにはオタマジャクシがいっぱい！

キャンプ場からまずはこなか池の方に山道の階段を下りました。午前中に田植えをしたばかりという田んぼにはオタマジャクシがたくさんいました。6年生のこのかちゃんを先頭にまこちゃん、みちかちゃん、みさきちゃんがあぜ道に降りていきます。「あっ！こっちにいるよ！」「こっちにもオタマジャクシがいた！」子どもたちの歓声が上がります。興奮気味のみんなをれいちゃんが上の方から冷静に見ています。「れいちゃんはこの嫌いの？」と聞くと「嫌い！」ときっぱり。意志の強さを感じます。それでもしばらくして気が付くと、いつの間にかれいちゃんもあぜ道に降りて遊んでいました。こうすけくんが日陰に沢山のオタマジャクシが集まっているのを見つけ



て大興奮。かやちゃんが手ですくったオタマジャクシを見せてくれましたが、池に移動するときには田んぼに返してあげました。

池では大きな鯉がうじゃうじゃと集まってきます。人の気配で餌をもらえるとわかっているのですね。自然の中で伸び伸びと育ち、時々餌ももらっているの丸々と太った鯉ばかりでした。桜の木の下でハイポーズ！

お花見広場でラプンツェルに！

「八重桜が咲いているかもしれないよ！」との声を聴き、お花見広場まで登ることになりました。かやちゃんが「急な階段で、登るのすごい大変なんだよ！途中で休みたくなるんだよ！」と教えてくれました。弟と一緒に参加するようになったつばさくんはお兄ちゃ

んの自覚が出てきたのか弟に声をかけていました。初参加のみさきちゃんも頑張って登っていました。坂道を上りきると広場にはきれいな八重桜が満開で、風が吹くと花びらが雪のように舞います。気持ちのいい場所で一休み、おやつタイムになりました。このかちゃんが率先してみんなにおやつを配ってくれます。最近はこどものまちの話し合いの時も記録係をさとしてくれたり、6年生のお姉さんらしくいつもみんなをリードしてくれるようになりました。おやつを食べながら桜の花吹雪を眺め、春の訪れを全身で感じる貴重な時間を過ごすことができました。子どもたちは自由に過ごし、女の子は長菅さんの髪をたんぽぽで飾り「ラプンツェル！」と嬉しそう、つばさくんは冷静に「あれ、雑草だけだね。」と一言。



白鳥のヤスオくん現る

かやちゃんの強い希望で最後に白鳥をみんなで見に行きました。池まで下りていくと姿は見えませんが、ケーンケーンと鳴き声がします。声のほうに進んでいくと白鳥の姿が見えてきました。れいちゃんが「あの白鳥はヤスオくんっていうんだよ。うちのお母さんがヤスオ君って呼んでた。メスの白鳥もいたんだけど、メスは死んじゃったんだって。」と教えてくれました。

そばには女性の方がいて、白鳥はとてもなついていました。女性が首をなでたり頭を触ってもおとなしくしています。私たちが近づいて、たくさん子どもたちに囲まれたせいか白鳥はケーンケーンと鳴き、まるで何かを訴えているようでした。写真を撮ろうと近づいた安藤さんは白鳥につつかれてしまいました。みんなに囲まれて興奮してしまったのですね。家に帰って見てみるとヤスオくんにつつかれたところは青いあざになっていました。それでも女性の方にはとてもなついていて、何かを話しかけているようにも見えました。



終了後、れいちゃんのお母さんに聞いてみると、とてもなついていておじさんがいて、おじさんがバイクで来るとそのバイクの音を聞き分けすぐに飛んでくるそうです。白鳥がこんなに人間になついたり、交流できる鳥だと初めて知りました。

春を探しに・・・

時計を見ると、解散の時間まであと20分です。さあ、また急な山道を登りキャンプ場まで上がらなくてはなりません。覚悟を決めてみんなで頑張ったのぼりました。(子どもたちはへっちゃらなのですが・・・)今回は初めの予定とは違う内容になってしまいましたが、時間を忘れ春の生き物や花々に触れ、楽しい時間を過ごすことができました。予定を決めず、子どもたちの行きたいところをのんびり歩き、久しぶりに気持ちの良い時間を持てたような気がします。

(記 安藤)





総会のおしらせ

新緑がさわやかな季節となりました。小学校では運動会が開催され、新一年生もはりきって参加し、学校生活にも慣れてきたころでしょうか。当会も新年度を迎え、さっそく楽しい活動が始まっています。今年も下記のように通常総会を開催します。昨年引越した新しい事務所を見がてら、ぜひご参加くださいませ。お待ちしております。

日時：2017年6月18日（日）10：30～12：00

場所：緑区子どもサポートセンター事務所(誉田町2-25-78 2階)

★駐車場はありませんので、駅近辺のコインPをご利用ください

★正会員の方でご欠席の場合は必ず書面評決か委任状をご提出ください

<講演会のお知らせ>



ちょっと変 子どものからだと心

～おかしさを克服するための提案～

「授業中、立ち歩く」「キレル」「アレルギー」「あ～疲れた・かったるい」を連発、「平熱が低い」「冷え性」「午前中やる気がでない」「腹痛」「頭痛」「便秘」「下痢」「ちゃんとした姿勢でいられない」「腰痛」「虫歯」「視力低下」「体力がない」等、ちょっと気になる子どものからだ。このような現実には直面している今、子どもたちが同様な状況に置かれ、どのような事情なのか、私たちおとなに伝えているメッセージは何か・・・

講師：野井真吾さん（日本体育大学体育学部健康学科教授）

日時：2017年6月13日（火）10：30～12：30（10時受付開始）

場所：千葉市民会館 特別会議室2

参加費：1000円

申し込み先：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

EMAIL: kidchiba@lily.ocn.ne.jp

